

新年あけましておめでとうございます。

今年もどきどき情報をよろしくお願ひいたします。

新しく普及に移す農業技術（第2回）

平成23年度（第2回）

（普及技術）

・「ゆめしなの」「あきたこまち」「コシヒカリ」「ひとごち」の疎植栽培は慣行栽培並の収量性、収益性が得られる。

ポイント 「ゆめしなの」は18株/m²、「あきたこまち」、「コシヒカリ」「ひとごち」は15株/15m²での疎植栽培が可能であり、慣行密植並みの収量性、収益性が得られ、規模拡大に有効である。

（技術情報）

・ハウス栽培における電気柵設置によるハクビシン侵入防止技術

ポイント すそ張りのあるハウスに電気柵を一段設置することでハクビシンの侵入を防ぐことができる。

平成21年度（第2回）

（試行技術）

・アスパラガスの培土による収量向上効果

ポイント アスパラガスのりん芽が地表面から10~15cmの深さになるように培土することにより、りん芽部の温度及び水分環境が安定し、若茎の太物比率が高まるとともに、かん水ができない場合の減収程度が軽減できる。

詳細は、技術事項作成協力までお問い合わせください。

農薬登録変更情報(使用制限になるもの)

使用制限期間 平成25年1月30日

農薬の種類名	該当作物	
ダイアジノン粒剤	小麦 まくわうり りんご みかん	使用禁止
ダイアジノン乳剤	トマト 漬けうり(しろうり・しまうり) まくわうり かぼちゃ 桃 すぎ 小麦	使用禁止
ダイアジノン水和剤	みかん トマト まくわうり 小麦	使用禁止

農薬の登録変更は、随時行われていますので、使用時には気を付けてください。



農業豆知識

野菜の育苗の季節が近づいてきました。しかし、野菜の種類によっては発芽率が悪かったり、発芽が不揃いになってしまう場合があると思います。そこで、今回は種子が発芽するために必要な条件についてお話します。

発芽に必要な条件って？

種子が発芽するためには、**水や光、温度、酸素**など発芽に適した環境におかれる必要があります。水が必要なことは言うまでもありませんが、だからといって水をやりすぎると土の中の細かい隙間にまで水が入り、種子が呼吸できなくなってしまいます。同じ理由で覆土のやりすぎも発芽率の低下につながりますので注意してください。また、野菜の種類によっては光が発芽に影響を及ぼす場合があります。発芽するとき、光があると促進されるものを好光性種子と呼び、レタスやニンジンなどがあたります。反対に光に当たると発芽が抑制されるものを嫌光性種子と呼び、ダイコンやトマト、キュウリなどが例に挙げられます。



様々な環境条件の中でも管理が難しいのが**温度**です。特に今の時期は温度が低いので、発芽するまでに時間がかかり、結果不揃いになってしまうことが多くあると思います。土壌中の水分や肥料、覆土にムラがあることだけでなく、温度も不揃いの原因になるのです。

発芽に適した温度とは？

左の図は各野菜の最適発芽温度を表したものです。これを見ると、例えば**ほうれんそうは15~20**が最適な発芽温度であることが分かります。ほうれんそうは10でも発芽しますが、25以上になると発芽率が大きく低下します。最適温度を5上回るだけで発芽率に悪影響が出てしまうのです。それくらい**発芽と温度には密接な関係がある**のです。

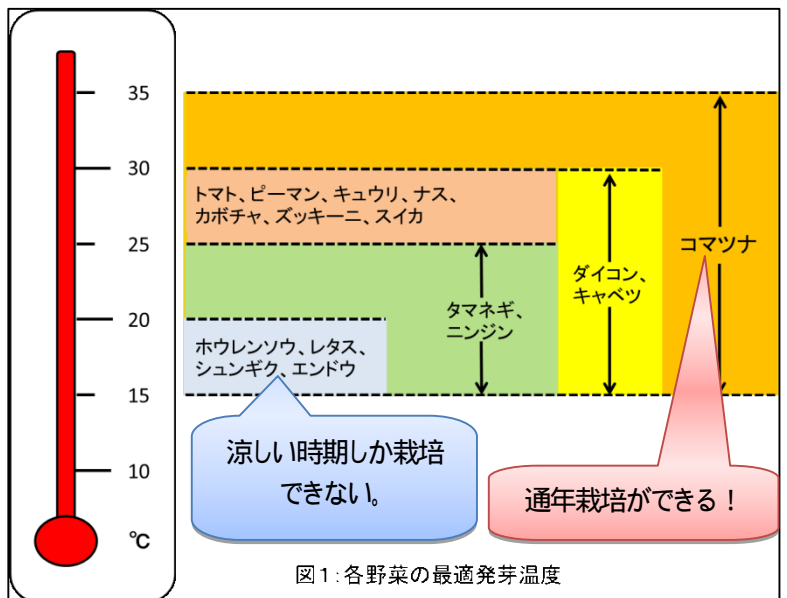


図1: 各野菜の最適発芽温度

温度は一定じゃない方が良い？

図1を見ると果菜類は発芽に比較的高温を必要とすることが分かります。しかし、実際に発芽をよくするには、常に適温を与えるのではなく、夜間は低く、日中は高くといったように、**1日の内で温度変化を与えた方が発芽揃いがよくなる**ことが多いのです。例えば、ナスは16時間30の高温下の後に8時間20の変温にする方が、発芽が良好となります。

温度管理に気をつけて、発芽の揃った立派な苗を作りましょう！

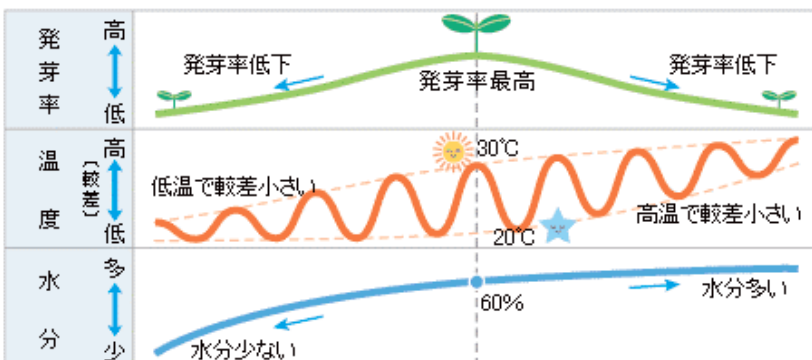


図2: ナスの発芽をよくする条件(タキイ種苗HPより出展)

あさつゆ連絡先 電話:FAX 41-1062

技術事項作成協力：上小農業改良普及センター
近藤・阿崎 (E-mail: joshu-aed@pref.nagano.lg.jp)